



郷土料理を学ぼう！
牛根小学校でサツマイモ調理授業



11月25日、牛根小学校の農園で児童たちが育て、収穫したサツマイモの調理授業が行われました。これは、地域の方々から郷土に伝わるサツマイモ料理の作り方を学び、交流を深めてほしいと同小学校が毎年企画しているものです。当日は、3年生から6年生までの11人が参加し、地域の方々からガネやしたびら団子等の作り方を教わりました。森心咲さん(3年)は「初めてだったので心配だったけど、調理方法などを教えていただき、春巻きのおかしづくりもできて楽しかったです。また来年も楽しみです」と話しました。



▲地域の方々とはい、チーズ！



▲指導を受けながら、丁寧に材料を切り分けました。



▲作った料理はみんなで持ち帰りました。

松ヶ崎小学校でお茶について学ぶ
『お茶とのふれあい事業』

11月29日、松ヶ崎小学校で、お茶とのふれあい事業が行われました。この事業は、本県の茶生産の実態や伝統文化として、茶への関心を高めることを目的に鹿児島県茶生産協会が企画したものです。当日は同小学校児童8人が参加し、大野原でお茶を生産している前田清輝さんを講師として招き、お茶の種類、歴史等について学びました。実際にお茶の淹れ方も教わり、児童たちはお茶のおいしさを実感していました。田村海音さん(1年)は「とてもおいしかった。家でも家族に淹れてあげたい」と話しました。



垂水の歴史を見て聞いて知る
垂水高校生が史蹟めぐり

11月25日、垂水高校が令和4年度史蹟めぐりを行いました。これは、地元輩出の先人たちの事績をたどることで、郷土についての認識を深めつつ、今の垂水市や、これからの未来について考えてほしいと同高校が毎年企画しているものです。当日は同高校全生徒が参加し、同高校から海潟まで往復約15kmを歩きながら各史蹟を巡り、垂水史談会の講話を受けました。永瀬拓海さん(1年)は「皆で歩いて、一緒に楽しみながら、垂水の知らないことが色々知れてとても良かったです」と話しました。



慈恩保育園の園児たち
ショベルカーに大興奮！

11月18日、垂水市役所旭町公用車庫で、慈恩保育園の園児が重機の乗車体験を行いました。これは、普段触れることのできない重機に興味をもってもらい、喜んでおらおうと同保育園が毎年、企画しているものです。当日は、園児20人が参加し、ショベルカーに乗って、重機を操縦する雰囲気を楽しむという貴重な体験に園児たちは、大興奮の様子でした。園児たちは「初めて乗ったけど、色々なことを教えてくれてうれしかった」、「おじちゃんたちと一緒に大きなトラックに乗れて楽しかった」と話しました。



地元を楽しく盛り上げよう！
境地域交流会『おじゃったもんせ』

11月20日、境小学校体育館で、境地域交流会『おじゃったもんせ』が開催され、200人以上の参加者で賑わいました。これは、地域活性化と交流を目的に境地区公民館等が企画したものです。当日は、音楽ライブや、バランスボール等を使用した健康体操が実施されました。また、会場では、焼き芋や焼き魚といった秋の味覚を堪能できるコーナーや、さまざまな景品が当たる『お楽しみ抽選会』等、子どもから大人まで楽しめる素敵な交流会となりました。参加者は「久しぶりに家族で楽しい時間を過ごせました」と話しました。



▲バランスボールを使った健康体操の様子。

黒川徹さんが九州防犯協会連絡協議会防犯功労表彰受賞

11月18日、九州防犯協会連絡協議会防犯功労表彰を受賞された柘原地区の黒川徹さんが、市長室を訪れました。これは、永年防犯活動にご尽力された方が受賞されるものです。地域安全モニター及び柘原振興会パトロール隊の一員など、28年間地域の犯罪防止活動を行ってきた黒川さんは「今後はいろいろな形で防犯活動を行い、より一層精進していきたいと思います。特に空き家対策については各団体と協力して取り組んでいきたいです」と話しました。この度の受賞、誠にありがとうございます。



子どもたちは楽しく体を動かしました。



▲子どもたちは楽しく体を動かしました。



▲移動販売車等も出店し、大変賑わいました。